

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月3日
東

上場会社名 株式会社ぐるなび 上場取引所
コード番号 2440 URL <https://corporate.gnavi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉原 章郎
問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 (氏名) 山田 晃久 (TEL) 03-6744-6463
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,378	9.6	△12	—	△23	—	24	△51.6
2026年3月期第1四半期	3,081	7.0	25	△82.2	23	△82.0	51	△55.5

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △23百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 69百万円(△26.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	0.44	0.44
2026年3月期第1四半期	0.90	0.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	10,858	5,219	47.7
2026年3月期	10,911	5,243	47.7

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 5,183百万円 2026年3月期 5,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,820	7.0	△630	—	△675	—	△675	—	△11.97
通期	15,100	6.8	△830	—	△920	—	△1,000	—	△17.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	56,903,800株	2026年3月期	56,903,800株
2027年3月期1Q	532,662株	2026年3月期	529,662株
2027年3月期1Q	56,373,116株	2026年3月期1Q	56,408,097株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 2026年3月期の期末自己株式数は、他人名義所有株式3,000株を含んでおります。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は添付資料 4 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、中東情勢の影響について一部で懸念があったものの、全体として緩やかな回復基調が続きました。当社サービスの対象である外食産業においては、消費者の外食支出が増加傾向にあり、客数・客単価双方の上昇により飲食店の売上は増加した一方で、原材料・資材価格の高騰や人手不足等、経営環境には厳しさもみられています。

当社は5月に「中期経営計画2028」（2027年3月期から2029年3月期）を発表いたしました。本計画において当社は、上述のような厳しい経営環境下においても飲食店が消費者に外食の楽しさを提供し続けられるよう、「持続可能な経営モデルへの転換」に向けた伴走支援を強化することとしております。また同時に、当社自身の中長期的な企業価値向上を目指し、従来のメディア事業の成長に依拠した事業構造から脱却し、より飲食店に寄り添ったBtoBビジネスへと注力分野を転換してまいります。具体的には、「真の”飲食店のサポーター”」への進化をビジョンに掲げ、強みである「サポート力」と「情報資産」を最大活用し、「提供価値の変革」と「飲食店ネットワークの拡大」を推進することとしており、この実現に向けた事業戦略として、以下の5つに取り組んでまいります。

- ① メディア・会員サービスの強化
- ② エージェント事業の確立
- ③ 加盟価値の拡充
- ④ 営業体制の強化・活動プロセスの改善
- ⑤ AI時代に即したデータ基盤の構築・活用

本計画初年度である当期の通期連結業績予想につきましては、売上高は前期比6.8%増の15,100百万円と見込む一方、将来の指数関数的な成長（Jカーブ成長）を実現するための飲食店ネットワークの拡大に向けた営業体制の増強等に戦略的な投資を実行することから、損益については、営業損失830百万円、経常損失920百万円、親会社株主に帰属する当期純損失1,000百万円となる計画です。

当第1四半期において、当期の最重要施策である営業体制の増強は計画通りに進捗しており、飲食店支援領域のフィールドセールス（※1）では今期計画していた採用を完了いたしました。また、インサイドセールス（※2）についても上期中の採用完了を見込む等、中期経営計画の目標達成に向け、良好な滑り出しとなりました。

その他の事業戦略については、①メディア・会員サービスの強化において、当第1四半期末における当社サービスのユーザー基盤である「楽天ID連携会員数」が1,139万人（前年同期末比10.3%増）となりました。加えて、前期より取り組んでいる人員増強やオンボード支援の強化によりネット予約対応店舗数が36,463店（同4.4%増）となり、メディアサービスの需要・供給双方の基盤が順調に拡大いたしました。

また、②エージェント事業の確立においては、「楽天ぐるなび」に掲載した加盟飲食店の情報を従来の「Google ビジネスプロフィール」との連携に留まらず、地図アプリやSNS等の多様なメディアにも一括同期することで、ME0（※3）及びAI0（※4）対策に有効となる新サービス（サイテーション管理商品）の提供を4月より開始いたしました。

その他の取り組みとして、モバイルオーダーサービス「ぐるなびFineOrder」において、飲食店より要望の多かった卓上タブレット型のオーダーシステム「F0タブレットオーダー」の提供を5月より開始し、導入店舗の拡大、満足度向上を図っております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は3,378百万円（前年同期比9.6%増）となりました。事業区分別の売上高は、下表のとおりです。

（単位：千円）

区分		前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）	前年同期比 増減率
基盤事業	飲食店支援サービス（※5）			
	ストック型サービス	2,380,603	2,621,201	+10.1%
	スポット型サービス	262,964	263,703	+0.3%
	小計	2,643,568	2,884,905	+9.1%
	プロモーション	173,459	203,382	+17.3%
	小計	2,817,027	3,088,287	+9.6%
関連事業		264,492	290,497	+9.8%
合計		3,081,520	3,378,785	+9.6%

飲食店支援サービスについては、ARPU（1店舗当たり契約高）の伸長に加え、主に前期に実施した営業体制の増強等が奏功し総有料加盟店舗数が前年同期比2.8%増の43,114店舗（うち、ストック型有料加盟店舗数は同0.3%増の33,555店舗）となったこと等により、ストック型サービスを中心に売上が伸長し前年同期比9.1%増となりました。

また、プロモーションについては、主に省庁・自治体向けプロモーション売上の拡大により前年同期比17.3%増、関連事業については、厨房機器販売店「テンポスぐるなび」の売上伸長が牽引し同9.8%増となりました。

費用については、ソフトウェア資産の積み上がりに伴う減価償却費、売上拡大に伴う原価の増加に加え、人員増強に伴う人員関連費用の増加等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、営業損失は12百万円（前年同期は営業利益25百万円）、経常損失は23百万円（前年同期は経常利益23百万円）となりました。なお、特別利益に投資有価証券売却益47百万円を計上したこと等から、親会社株主に帰属する四半期純利益は24百万円（前年同期比51.6%減）となりました。

- ※1 フィールドセールス：未加盟店に対する商談・契約獲得や既存加盟店（主にベーシックプランの加盟店）に対するコンサルティング等を行う営業担当者
- ※2 インサイドセールス：見込み顧客のリストアップや初期アプローチ、アポイントメント獲得等を行う営業担当者
- ※3 ME0：地図アプリ等の検索最適化
- ※4 AI0：AI検索最適化
- ※5 当第1四半期連結会計期間より、「飲食店販促サービス」の名称を「飲食店支援サービス」に変更しております。これは、飲食店に対する提供サービスの領域が販促支援から業務・経営支援へと拡大している実態を反映するとともに、「中期経営計画2028」に基づく今後のさらなる支援領域の拡大を見据えたものです。なお、名称のみの変更であり集計範囲に変更はないため、前年同四半期の数値も変更後の名称で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現預金が増加した一方、未収入金及び売掛金が減少したことにより流動資産が前連結会計年度末より157百万円減少したこと、他方、従業員用PCの買い替え等により工具器具備品を中心に固定資産が同104百万円増加したことから、同52百万円減少し10,858百万円となりました。

負債は、賞与引当金が減少した一方で、前受金が増加したこと等により、前連結会計年度末より28百万円減少し5,638百万円となりました。

純資産は、繰越利益剰余金が増加した一方で、投資有価証券の売却に伴いその他有価証券評価差額金が減少したこと等により、前連結会計年度末より23百万円減少し5,219百万円となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間末	増減
総資産	10,911	10,858	△52
負債	5,667	5,638	△28
純資産	5,243	5,219	△23
自己資本比率	47.7%	47.7%	- pt

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,300,833	4,297,907
受取手形及び売掛金	2,527,804	1,809,243
仕掛品	5,068	110,691
未収入金	1,525,594	802,570
その他	688,608	865,553
貸倒引当金	△60,763	△55,935
流動資産合計	7,987,145	7,830,030
固定資産		
有形固定資産	244,141	400,387
無形固定資産	1,870,821	1,877,611
投資その他の資産	809,152	750,410
固定資産合計	2,924,115	3,028,409
資産合計	10,911,260	10,858,440
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	154,279	118,266
1年内返済予定の長期借入金	243,996	243,996
未払法人税等	4,203	1,541
賞与引当金	336,138	172,395
ポイント引当金	5,405	5,591
未払金	1,257,572	1,328,412
資産除去債務	82,590	82,690
その他	327,503	510,619
流動負債合計	2,411,688	2,463,513
固定負債		
長期借入金	3,034,006	2,973,007
資産除去債務	140,405	140,618
その他	81,632	61,647
固定負債合計	3,256,044	3,175,272
負債合計	5,667,733	5,638,786
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	5,502,562	5,502,562
利益剰余金	466,228	491,070
自己株式	△1,048,858	△1,048,858
株主資本合計	5,019,933	5,044,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116,885	64,905
為替換算調整勘定	69,812	73,949
その他の包括利益累計額合計	186,698	138,854
新株予約権	4,968	4,968
非支配株主持分	31,927	31,056
純資産合計	5,243,527	5,219,654
負債純資産合計	10,911,260	10,858,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,081,520	3,378,785
売上原価	1,183,400	1,436,910
売上総利益	1,898,119	1,941,875
販売費及び一般管理費	1,872,394	1,953,919
営業利益又は営業損失(△)	25,725	△12,044
営業外収益		
受取配当金	4,000	7,000
受取利息	26	4,888
その他	7,441	3,461
営業外収益合計	11,467	15,350
営業外費用		
支払利息	11,446	24,096
その他	2,241	2,612
営業外費用合計	13,688	26,708
経常利益又は経常損失(△)	23,504	△23,402
特別利益		
投資有価証券売却益	30,555	47,881
特別利益合計	30,555	47,881
税金等調整前四半期純利益	54,060	24,479
法人税等	1,961	1,541
四半期純利益	52,099	22,937
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	768	△1,903
親会社株主に帰属する四半期純利益	51,330	24,841

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	52,099	22,937
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,263	△51,979
為替換算調整勘定	△8,159	5,168
その他の包括利益合計	17,104	△46,810
四半期包括利益	69,203	△23,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,071	△24,583
非支配株主に係る四半期包括利益	△867	709

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結会社において当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

当社グループは、飲食店支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

当社グループは、飲食店支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	106,440千円	215,927千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
飲食店支援サービス (ストック型サービス)	2,380,603	2,621,201
飲食店支援サービス (スポット型サービス)	262,964	263,703
プロモーション	173,459	203,382
関連事業	248,053	267,565
顧客との契約から生じる収益	3,065,080	3,355,853
その他の収益	16,439	22,931
外部顧客への売上高	3,081,520	3,378,785

(注) その他の収益は、不動産の賃貸による収入等に係る売上であります。